

プレアボイド報告の充実に向けて



済生会日向病院薬局
三樹 修一

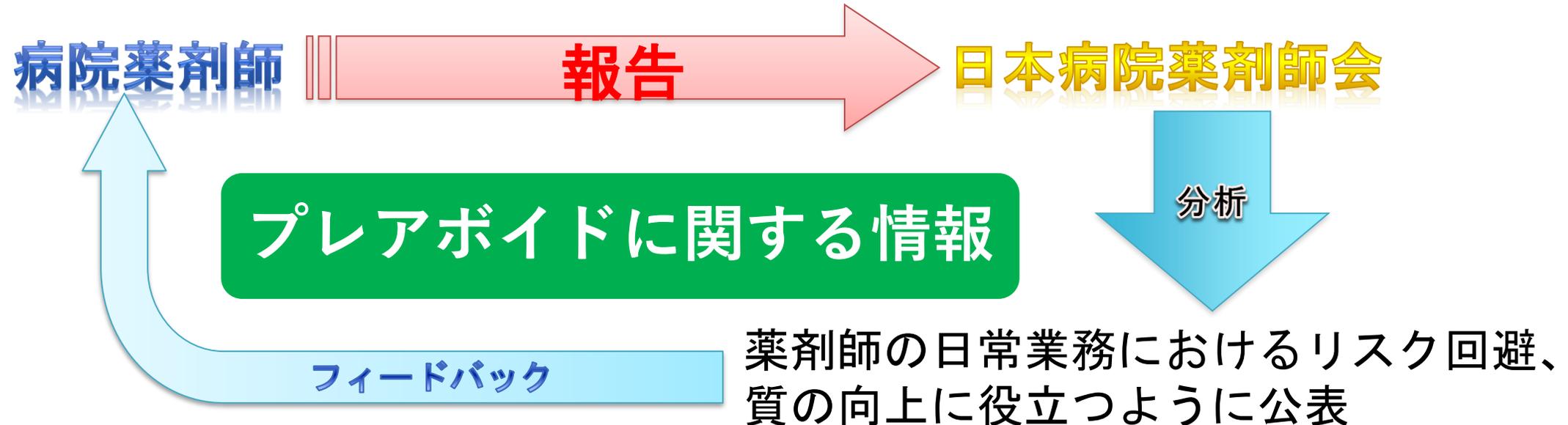
プレアボイドとは

「**PRE**vent and **AVOID** the adverse drug reactions」の略称で、

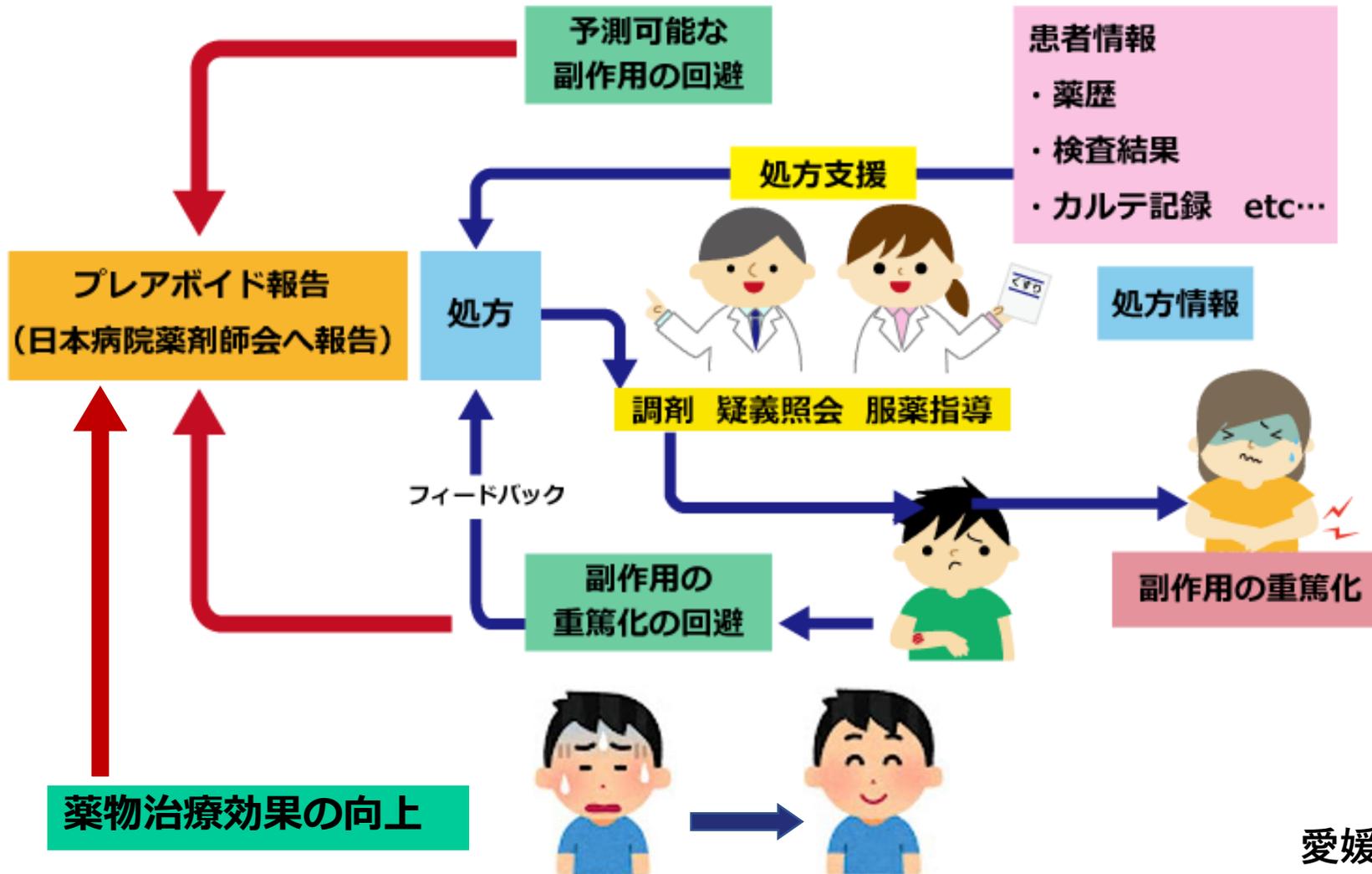
(薬による有害事象を防止・回避する)

病院薬剤師にとって薬物療法の安全管理職能がわかる言葉として創られた造語です。

日本病院薬剤師会では、薬剤師が薬物療法に直接関与し、**薬学的患者ケア**を**実践**して**患者の不利益**（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減、**薬物療法**の**向上**に貢献した事例を“**プレアボイド**”と称して報告を収集しています。



プレアボイド報告の流れ



日常業務の中で色々な状況が
きっかけとなります。

- ・持参薬鑑別中
- ・処方箋監査中
- ・患者指導の準備中
- ・患者面談中
- ・回診協議中
- ・配薬準備中
- ・病棟巡回中
- ・カンファレンス中 etc..

**まずはプレアボイド
報告を意識することが
大切！**

プレアボイドの報告様式

- 副作用の重篤化回避(様式1)

- 副作用未然回避(様式2)

ポリファーマシーは
色々該当しそう

- 薬物治療効果の向上 (様式3)

平成28年4月より集計開始



様式1： 副作用の重篤化回避

患者面談によって薬剤の副作用（錐体外路障害）を発見し、被疑薬の中止・減量を提案した。

副作用は軽微な段階で回避でき、**重篤化の回避に寄与している**ため、「**様式1**」

【プレアボイド報告書(重篤化等回避報告用) 様式1】 年齢60代 男性 急性呼吸不全のため入院

- 2013/12/20 面談時に患者本人より訴えあり。 **(筆談にて対応の患者)**
昨年の夏位から**手の震えが出るようになった**。
現在は少し落ち着いてきているが、継続して症状があるとのこと。
面談時は症状は強くない様子であるが、筆談が困難との訴えもある。
抗精神病薬による錐体外路障害の可能性を考慮。
コントミン25mg/日、リスパダール不安時1回1mg (時に追加で2mg/回)
コントミン減量、リスパダール中止、ベンザリン増量を提案する。
- コントミン糖衣錠12.5mg 2錠 → **1錠に減量**
リスパダール内用液は**中止**
ベンザリン細粒10mg/g 0.3g → **0.5gに増量**
12/22 呼吸不全改善のため、退院
- 2014/1/7 膀胱腫瘍の手術のため入院。
面談時に、**手の震えは落ち着いている**ことを確認する。

様式2： 副作用の未然回避

薬剤の投与量は通常量であったが、この患者は入院時の問診で腎障害のあることを知っていたので、医師に減量するように依頼した。

副作用は**未然に防がれた**ので、
「様式2」

【プレアボイド報告書（未然回避報告）様式2】

年齢 30代 女性 胃潰瘍治療目的で入院

- 胃潰瘍治療のためファモチジン注 **40mg 点滴（分2）**が新規処方された。病棟担当薬剤師は、この患者は入院時に**中等度腎障害**のあることを知っていたため、最新の検査結果からクレアチニンクリアランスを概算すると**40 mL/min**であることが判明した。ファモチジンの過量投与による**せん妄などのリスク**を考慮して医師に減量を提案した。
- ファモチジン注 **20mg 点滴（分1）**に処方変更となった。

本報告では、変更後の経過の記載はありませんでした。個人的には対応後の経過と評価に関する記載も必要と考えます。

様式3： 薬物治療効果の向上

患者面談により、がん性疼痛のコントロールが不十分であることが判明したので、オピオイドの増量を提案し、翌日より改善した。

疼痛緩和の向上に**寄与している**ため、
「様式3」

【プレアボイド報告書（薬物治療効果の向上）様式3】

年齢 30代 女性 乳癌化学療法目的で入院

- 2週間前から胸部(乳房)痛に対して**オキシコンチンを20mg/日 12時間毎**で服用していたが、次回内服の1~2時間前になると安静時にも痛みが増強しており、その際の**NRS評価は8/10**であった。**オキノーム2.5mg/回の使用回数は1日3~4回**であり、服用後の**NRS: 2/10**と効果は得られていた。
- レスキュードーズ合計量よりオキシコンチン推奨量を算出すると**30mg/日**、血中濃度低下時間の疼痛増悪を回避するためには**用法を分3**とすることが必要であると考えた。
- 主治医に**オキシコンチン増量(30mg/日 8時間毎)**を提案。翌日朝6時より増量となった。
- 増量翌日の評価において、**NRS:1~2/10**で推移していることを確認。**レスキュー回数は1~2回/日**へ減少した。増量後の便秘、悪心、眠気の増強なく、化学療法は予定通り実施され、退院となった。

プレアボイド広場

プレアボイド広場

● 日病薬誌掲載 プレアボイド広場

第61巻7号掲載	プレアボイド重篤化回避報告の分析評価および考察
第61巻3号掲載	プレアボイド報告の様式選択について
第60巻11号掲載	プレアボイド様式3「薬物治療効果の向上」の評価と今後の課題
第60巻9号掲載	インスリン自己注射指導におけるプレアボイド報告について
第60巻7号掲載	手術室担当薬剤師によるプレアボイド報告について
第60巻5号掲載	「眼」に関するプレアボイド報告について
第60巻4号掲載	骨粗鬆症の治療に関連したプレアボイド報告
第60巻3号掲載	急性薬物中毒に関連したプレアボイド報告
第60巻1号掲載	プレアボイド重篤化回避報告と添付文書に記載がない副作用、副作用等報告の関連について
第59巻11号掲載	「せん妄」に関連したプレアボイド報告について
第59巻10号掲載	プレアボイド報告収集重点課題「フィジカルアセスメント」症例の分析について
第59巻9号掲載	重篤副作用疾患別対応マニュアルを活用したプレアボイド報告
第59巻6号掲載	新型コロナウイルス感染症治療におけるプレアボイド報告
第59巻1号掲載	薬剤師外来が寄与したがん化学療法におけるプレアボイド報告
第58巻11号掲載	より良いプレアボイド報告へのポイント～造血管腫瘍領域～
第58巻9号掲載	タスク・シフトで期待される持参薬確認におけるプレアボイド報告事例
第58巻7号掲載	周術期に関連したプレアボイド報告
第58巻5号掲載	高齢者のがん薬物療法におけるプレアボイド報告について
第58巻2号掲載	フィジカルアセスメントを端緒とするプレアボイド報告事例

医薬情報
プレアボイド

行事予定
学会・研修会

公知申請

後発医薬品

プレアボイド広場

プレアボイド年度報告

プレアボイド

お問い合わせ
オンライン報告

入会案内・変更手続

都道府県病院薬剤師会一覧

日病薬会

日病薬誌

病院薬剤

病院薬剤師になろう（薬学生の方へ）

【プレアボイド広場】
日病薬雑誌に掲載された
プレアボイド関連記事

プレアボイド年度報告

プレアボイド年度報告

日病薬誌掲載 プレアボイド年度報告

- ・ 令和5年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 令和4年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 令和3年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 令和2年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 令和元年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 平成30年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 平成29年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 平成28年度プレアボイド報告の概要 
- ・ 平成27年度プレアボイド報告の概要 



The screenshot shows a website navigation menu with two main categories: '医薬情報 プレアボイド' and '行事予定 学会・研修会'. Under '医薬情報 プレアボイド', there is a search bar and a list of items: '公知申請', '後発医薬品', 'プレアボイド広場', 'プレアボイド年度報告' (highlighted in yellow), 'プレアボイド お問い合わせ', and 'オンライン報告'. Below this, there are buttons for '入会案内・変更手続', '都道府県病院', '日病薬会員', '日病薬監製', '病院薬剤師', and '病院薬剤師になる方 (薬学生の方へ)'.

【プレアボイド年度報告】
日病薬雑誌に掲載されている
プレアボイド年度報告の概要
過年度分の閲覧が可能

プレアボイド

プレアボイド

● プレアボイド小委員会からのお知らせ

[「プレアボイドレジストリ」管理・運用規約の改訂について](#) 

[プレアボイドオンライン報告新システム様式1・様式3の本稼働時期について](#) 

[「病院薬剤師におけるフィジカルアセスメントを端緒とするプレアボイド報告の手引き」について](#) 

[薬剤性の高血糖および低血糖に対するプレアボイド報告のお願い](#) 

● プレアボイド

● [プレアボイドとは？](#)

● [オンライン報告をする](#)

● [プレアボイド優良事例をみる](#)

[プレアボイドに関するお問い合わせ](#)

会員専用ページ

日病薬雑誌 最終ページに掲載されているユーザー名、パスワードの入力が必要

【プレアボイド】

- プレアボイド小委員会からのお知らせ
- プレアボイドの説明
- オンライン報告の説明
- プレアボイド優良事例

オンライン報告



会員専用ページ
日病薬雑誌 最終ページに掲載さ
れているユーザー名、パスワード
の入力が必要

【オンライン報告】

- ・ プレアボイド小委員会からのお知らせ
- ・ プレアボイド報告に関するお願い
- ・ プレアボイド新システムについてアカ
ウントの作成方法、利用マニュアル、
動画説明を確認できます。

プレアボイド オンライン報告

● プレアボイド小委員会からのお知らせ

[プレアボイドオンライン報告新システム様式1・様式3の本稼働時期について](#)

[「病院薬剤師におけるフィジカルアセスメントを端緒とするプレアボイド報告の手引き」につ
いて](#)

[薬剤性の高血糖および低血糖に対するプレアボイド報告のお願い](#)

● プレアボイド報告に関するお願い

- 報告は、一定期間（特に月末等）に集中しないようにしてください。
- 1日あたりの報告数は、1施設につき30件を上限としてください。
- 同時に複数のウインドウ（タブ）を開いて、入力・編集作業は行わないでください。
- システムトラブルの原因となりますので、1件ずつ入力してください。

● プレアボイド 新システム

- ・ 新システム（様式2）は2024年10月8日、新システム（様式1・3）は2025年4月1日に本稼
働を開始しました。
- ・ 旧システムでの報告はできませんので、新システムから

[プレアボイド 新システムアカウント作成方法](#)

[プレアボイド 新システム利用マニュアル](#)

[プレアボイド 新システム利用マニュアル（動画）](#)

動画説明

新システム アカウント作成

新システム オンライン報告

アカウント作成の方法

プレアボイド オンライン報告

● プレアボイド小委員会からのお知らせ

[プレアボイドオンライン報告新システム様式1・様式3の本稼働時期について](#)

「病院薬剤師におけるフィジカルアセスメントを端緒とするプレアボイド報告の手引き」について

[薬剤性の高血糖および低血糖に対するプレアボイド報告のお願い](#)

● プレアボイド報告に関するお願い

- 報告は、一定期間（特に月末等）に集中しないようにしてください。
- 1日あたりの報告数は、1施設につき30件を上限としてください。
- 同時に複数のウィンドウ（タブ）を開いて、入力・編集作業は行わないでください。
- システムトラブルの原因となりますので、1件ずつ入力してください。

● プレアボイド 新システム

- 新システム（様式2）は2024年10月8日、新システム（様式1・3）は2025年4月1日に本稼働を開始しました。
- 旧システムでの報告はできませんので、新システムからご報告をお願いいたします。

[プレアボイド 新システムアカウント作成方法](#)

[プレアボイド 新システム利用マニュアル](#)

[プレアボイド 新システム利用マニュアル（動画）](#)

新システム アカウント作成

新システム オンライン報告

新システムを使用するためには利用者ごとにアカウントの設定が必要

「新システム アカウントの作成」のボタンをクリック

アカウント作成画面①

● 利用規約

プレアボイド報告規約

第1条 本規約は、日本病院薬剤師会(以下、日病薬)が実施するプレアボイド報告事業において、プレアボイド報告システムの利用及びプレアボイドの報告(以下、プレアボイド報告)を利用者が行うにあたっての条件を定めるものであり、日病薬と利用者との間の取り決めの内容となるものです。プレアボイド報告を行うためには、本規約に同意いただくことが条件となります。

2.「プレアボイド報告事業」とは、利用者からプレアボイド報告システムを利用して報告されたプレアボイドについて、日病薬のプレアボイド評価小委員会が報告内容の評価・分類を行い、日病薬においてプレアボイド報告事例データの蓄積をするものです。蓄積されたプレアボイド報告事例データは、日病薬会員と共有するとともに職能資料及び日病薬の活動の範囲で利用公表します。「プレアボイド報告事業」は、日病薬の定める「プレアボイドレジストリ管理・運用規約」に従って実施されます。

3.「利用者」とは、本規約に定める一切の内容を承諾の上、プレアボイド報告等を行う者であり、日病薬の会員に限ります。

利用規約の内容を確認した後、「利用規約に同意する」のチェックボックスをチェック

● 同意確認

利用規約に同意する

新システム アカウント作成

「新システム アカウント作成」のボタンをクリック

アカウント作成画面②

プレアボイド報告システム 新規登録

管理者情報 入力

管理者氏名 **必須** ?

e-mail **必須**

管理パスワード (8~16文字、英数字混在) **必須** ?

一般パスワード (8~16文字、英数字混在、管理パスワードと異なる値を入力) **必須** ?

医療機関名 **必須** ?

施設コード

施設住所(都道府県) **必須**

施設住所

電話番号 (半角、ハイフンあり) **必須**

自動設定 ?

- 事例新規作成時にe-mail を自動入力する
- 事例新規作成時に報告者名欄に管理者氏名を自動入力する

登録

自動設定のチェックボックスにチェックしておくこと事例を新規に作成した際に管理者氏名、医療機関情報、e-mailアドレスが自動出力される。

オンライン報告の方法

プレアボイド オンライン報告

● プレアボイド小委員会からのお知らせ

[プレアボイドオンライン報告新システム様式1・様式3の本稼働時期について](#)

「病院薬剤師におけるフィジカルアセスメントを端緒とするプレアボイド報告の手引き」について

[薬剤性の高血糖および低血糖に対するプレアボイド報告のお願い](#)

● プレアボイド報告に関するお願い

- 報告は、一定期間（特に月末等）に集中しないようにしてください。
- 1日あたりの報告数は、1施設につき30件を上限としてください。
- 同時に複数のウインドウ（タブ）を開いて、入力・編集作業は行わないでください。
- システムトラブルの原因となりますので、1件ずつ入力してください。

● プレアボイド 新システム

- 新システム（様式2）は2024年10月8日、新システム（様式1・3）は2025年4月1日に本稼働を開始しました。
- 旧システムでの報告はできませんので、新システムからご報告をお願いいたします。

[プレアボイド 新システムアカウント作成方法](#)

[プレアボイド 新システム利用マニュアル](#)

[プレアボイド 新システム利用マニュアル（動画）](#)

[新システム アカウント作成](#)

[新システム オンライン報告](#)

「新システム オンライン報告」の
ボタンをクリック

オンライン報告にログイン



The screenshot shows a login interface for the 'Prepaid Report System' (プレアボイド報告システム) of the Japanese Society of Hospital Pharmacists (一般社団法人 日本病院薬剤師会). At the top is a clipboard icon. Below it, the system name and organization are displayed. The login form consists of two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) with the value 's.mitsugi@hyuga.saiseikai.or.jp' and 'パスワード' (Password) with masked characters. Below the fields is a checkbox labeled 'ログイン情報を記憶する' (Remember login information). A blue 'ログイン' (Login) button is positioned below the checkbox. At the bottom, there is a link for 'パスワードをお忘れの方は [こちら](#)' (If you forgot your password, click here).

アカウント作成画面で
登録した情報を入力

ログイン情報を記憶するの
チェックボックスにチェックを入
れると次回から自動でログイン
できます。

オンライン報告のトップ画面

新規作成

様式1：副作用の重篤化回避

様式2：副作用の未然回避

様式3：薬物治療効果の向上

過去報告を検索

ステータス

報告完了 一次保存 確認待ち

様式

様式1 様式2 様式3

初回登録日

yyyy/mm/d ☒ ~ yyyy/mm/d ☒

報告完了日

yyyy/mm/d ☒ ~ yyyy/mm/d ☒

検索対象

キーワード1

キーワード2

AND OR

検索

解除

全選択

一括PDF (選択中)

一括CSV (選択中)

一括CSV (すべて)

結果一覧

選択	ステータス	様式	事例表題	報告者	初回登録日	報告完了日	操作
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキセチンOD錠20mg)	三樹修一	2025/07/18	2025/07/18	操作 ▾
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	腎不全患者に対するレボフロキサシンの過量投与の回避	三樹修一	2025/02/08	2025/02/08	操作 ▾
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	降圧剤による低血圧の回避	三樹修一	2024/10/10	2024/10/10	操作 ▾

< 前へ 次へ >

1 / 1ページ表示, 全3件

報告の様式を選択する。

過去の報告を検索できる。

報告の内容を
・表示
・PDF出力
・CSV出力
・受領証出力

報告様式の選択について

新規作成

様式1：副作用の重篤化回避

様式2：副作用の未然回避

様式3：薬物治療効果の向上

過去報告を検索

ステータス

報告完了 一次保存待ち

様式

様式1 様式2 様式3

yyyy/mm/d ~ yyyy/mm/d

報告日

yyyy/mm/d ~ yyyy/mm/d

プレアポイド報告 様式1：副作用の重篤化回避

一覧画面 一時保存 確認待ち PDFプレビュー 入力内容確認

事例表題

患者背景

年齢 性別 男 女 その他 妊娠 有 無

身長 cm 体重 kg 入院外来 (発見時の状態) 入院患者 外来患者

原疾患 既往歴 肝障害 有 無 不明 既往歴 腎障害 有 (重度) 有 (中等度) 有 (軽度) 無 不明

介入時の業務内容 病棟業務 中央業務 (調剤、調製、TDM、DI業務など)

【医療チーム】 ICT AST NST 緩和ケア 精神科リエンソ 褥瘡対策 周術期 その他

【その他】 薬剤師外来 (診察前) 薬剤師外来 (診察後) 外来化学療法室 手術室 その他

その他の詳細

契機 複数選択可

患者・家族の訴え (薬剤師が聴取) 患者・家族の訴え (薬剤師以外が聴取) 医師からの相談 看護師からの相談 他の薬剤師からの相談 処方箋 薬剤 カルテ等情報 持参薬確認 トレーシングレポート オンライン資格確認等システムから確認した情報 検査値 バイタルサイン フィジカルアセスメント TDM その他

プレアポイド報告 様式2：副作用の未然回避

一覧画面 一時保存 確認待ち PDFプレビュー 入力内容確認

事例表題

患者背景

年齢 性別 男 女 その他 妊娠 有 無

身長 cm 体重 kg 入院外来 (発見時の状態) 入院患者 外来患者

原疾患 既往歴 肝障害 有 無 不明 既往歴 腎障害 有 (重度) 有 (中等度) 有 (軽度) 無 不明

介入時の業務内容 病棟業務 中央業務 (調剤、調製、TDM、DI業務など)

【医療チーム】 ICT AST NST 緩和ケア 精神科リエンソ 褥瘡対策 周術期 その他

【その他】 薬剤師外来 (診察前) 薬剤師外来 (診察後) 外来化学療法室 手術室 その他

その他の詳細

契機 複数選択可

患者・家族の訴え (薬剤師が聴取) 患者・家族の訴え (薬剤師以外が聴取) 医師からの相談 看護師からの相談 他の薬剤師からの相談 処方箋 薬剤 カルテ等情報 持参薬確認 トレーシングレポート オンライン資格確認等システムから確認した情報 検査値 バイタルサイン フィジカルアセスメント TDM その他

プレアポイド報告 様式3：薬物治療効果の向上

一覧画面 一時保存 確認待ち PDFプレビュー 入力内容確認

事例表題

患者背景

年齢 性別 男 女 その他 妊娠 有 無

身長 cm 体重 kg 入院外来 (発見時の状態) 入院患者 外来患者

原疾患 既往歴 肝障害 有 無 不明 既往歴 腎障害 有 (重度) 有 (中等度) 有 (軽度) 無 不明

介入時の業務内容 病棟業務 中央業務 (調剤、調製、TDM、DI業務など)

【医療チーム】 ICT AST NST 緩和ケア 精神科リエンソ 褥瘡対策 周術期 その他

【その他】 薬剤師外来 (診察前) 薬剤師外来 (診察後) 外来化学療法室 手術室 その他

その他の詳細

契機 複数選択可

患者・家族の訴え (薬剤師が聴取) 患者・家族の訴え (薬剤師以外が聴取) 医師からの相談 看護師からの相談 他の薬剤師からの相談 処方箋 薬剤 カルテ等情報 持参薬確認 トレーシングレポート オンライン資格確認等システムから確認した情報 検査値 バイタルサイン フィジカルアセスメント TDM その他

<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキセチンOD錠20mg)	三樹修一	2025/07/18	2025/07/18	<input type="button" value="操作"/>
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	腎不全患者に対するレボフロキサシンの過量投与の回避	三樹修一	2025/02/08	2025/02/08	<input type="button" value="操作"/>

プレアボイド報告「様式1」入力について①

プレアボイド報告 様式1：副作用の重篤化回避

[一覧画面](#)[一時保存](#)[確認待ち](#)[PDFレビュー](#)[入力内容確認](#)事例表題 **必須** [記入例](#)

マグニット錠の投与中止により高マグネシウム血症の重篤化を回避した事例

「？」をクリックすると腎障害の基準についての説明が出てきます。

患者背景

年齢 **必須**

80

日・月齢

性別 **必須** 男 女 その他

妊娠

 有 無

身長

170

cm

体重

60

kg

入院外来（発見時の状態） **必須** 入院患者 外来患者原疾患 **必須**

便秘症

既往歴 肝障害 **必須** 有 無 不明既往歴 腎障害 **必須** 有（重度） 有（中等度） 有（軽度） 無 不明

既往歴 腎障害について

「腎障害の目安はeGFR（mL/分/1.73 m²）を用いた場合、重度は30未満または透析、中等度は45 未満、軽度は60 未満」

介入時の業務内容 **必須** 病棟業務 中央業務（調剤、調製、TDM、DI業務など）【医療チーム】 ICT AST NST 緩和ケア 精神科リソソ 褥瘡対策 周術期 その他【その他】 薬剤師外来（診察前） 薬剤師外来（診察後） 外来化学療法室 手術室 その他

その他の詳細

「様式2」「様式3」も手順は、ほぼ同じです。

プレアボイド報告「様式1」入力について②

契機 **必須** ※複数選択可

- 患者・家族の訴え（薬剤師から聴取した情報）
- 注射箋 薬歴 カルテ
- フィジカルアセスメント ?

フィジカルアセスメントの定義への適合性の判断

以下のa, b両方を満たす場合、病院薬剤師におけるフィジカルアセスメント報告に該当すると判断できる

- a. 介入の端緒に身体情報または生体検査情報（血圧、心電図等）を含む
- b. 介入の端緒となった情報について、b-1またはb-2のどちらかを満たす
 - b-1. 薬剤師自らがフィジカルアセスメントの実践により取得した情報である
 - b-2. 薬剤師自ら以外（他職種やカルテ等）から得た情報である場合、薬剤師が情報取得後に患者との面談もしくは患者の家族・他職種・紹介状等から副作用症状の詳細な状況（症状の経過・部位・性質・発現タイミング・軽快増悪因子の有無等）を確認している（自覚症状がない場合を含む）

- 看護師からの相談 他の薬剤師からの相談 処方箋から確認した情報 検査値 バイタルサイン

フィジカルアセスメント横の「？」をクリックするとフィジカルアセスメントの定義への適合性の判断の基準が表示されます。基準を満たす場合は、病院薬剤師によるフィジカルアセスメント報告に該当すると判断されるのでフィジカルアセスメントのチェックボックスにチェックを入れてください。

プレアボイド報告「様式1」入力について③

介入薬剤 **必須** **記入例**

介入分類	介入前		被疑薬	介入後		操作
	薬剤名	用法用量等		薬剤名	用法用量等	
<input type="text"/>	<input type="text" value="薬剤名を入力"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="薬剤名を入力"/>	<input type="text"/>	削除不可
<input type="text"/>	<input type="text" value="まくみ"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="まくみ"/>	<input type="text"/>	削除不可

まくみ
0 まくみ
マグミット錠 250mg (250mg 1錠)
マグミット錠 330mg (330mg 1錠)
マグミット錠 500mg (500mg 1錠)
マグミット錠 200mg (200mg 1錠)
マグミット細粒 8.3% (8.3% 1錠)

：3000字) **必須** ※併用薬がない場合は「な

減量の場合は「コピー」を押すと介入前と同じ薬剤名が複製される。
変更の場合は変更後の薬剤を選択

薬品の入力の際は頭3文字を入力すると選択肢が出てくるので選択する。
* 基本的に手入力しない。

介入分類を選択します

プレアボイド報告「様式1」入力について④

介入薬剤 **必須** **記入例**

介入分類	介入前		被疑薬	介入後		操作
	薬剤名	用法用量等		薬剤名	用法用量等	
薬剤中止 ▼	マグミット錠 3 3 0 m g × ▼	1日3回 1回1錠	<input checked="" type="checkbox"/> コピー	薬剤名を入力 ▼		削除不可

被疑薬の詳細

使用目的	使用期間	使用期間コメント	添付文書	RMP
便秘の改善	yyyy/mm/dd 📅 ~ yyyy/mm/dd 📅		▼	▼

+ 行追加 (最大10) |

2025年(令和7年) 7月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

クリア 今日

- 「重大な副作用」に関連する副作用の記載あり
- 「その他の副作用」に関連する副作用の記載あり
- 上記以外の項目に関連する副作用の記載あり
- 関連する副作用の記載なし

- 「重要な特定されたりスク」に関連する副作用の記載あり
- 「重要な潜在的リスク」に関連する副作用の記載あり
- 「重要な不足情報」に関連する副作用の記載あり
- 関連する副作用の記載なし
- RMPが作成されていない

日付をカレンダーから選択

添付文書への記載状況を選択

RMPへの記載状況を選択

プレアボイド報告「様式1」入力について⑤

副作用（MedDRA/Jに準拠） **必須** ?

副作用名	Grade	発見年月日	発現期間	発現期間コメント	操作
<input type="text" value="こう"/> 高 高血糖 高カリウム血症 高脂血症 高マグネシウム血症 高ナトリウム血症	<input type="text"/>	<input type="text" value="yyyy/mm/dd"/>	<input type="text" value="yyyy/mm"/> ~ <input type="text" value="yyyy/mm"/>	<input type="text"/>	削除不可

併用薬 ※併用薬がない場合は「なし」と入力

参照

発見年月日、発現期間はカレンダーより選択する。

該当する副作用の頭文字を入力すると選択肢が表示される。

プレアボイド報告「様式1」入力について⑥

副作用 副作用検索 ?

×

操作

分類

代謝および栄養障害

検索

解除

削除不可

キーワード

副作用名

高脂血症
高マグネシウム血症
高ナトリウム血症
高リン血症
高トリグリセリド血症
高尿酸血症

Grade

G1
G2
G3
G4
G5
不明

WULN-1.23 mm

23-3.30 mm

mmol/L; 生

ウム濃度が

MEUDRA(C)CAEVJ_20220901_V25_1) : 10020670

こちらの画面からも副作用検索ができます。

1. 分類を選択またはキーワードを入力して副作用名を検索する。
2. 該当する副作用名を選択、Gradeを入力後、右下確定ボタンをクリックする。

「Grade」の枠をクリックして該当するGradeを選択する。

確定

プレアボイド報告「様式1」入力について⑦

経過 ※時系列情報は可能な限りDay表記（初回介入日をDay0）で入力してください

時系列情報	経過内容（文字数上限：1000字）※必須	操作
-------	----------------------	----

「転機」「因果関係」「厚労省安全性情報報告」「副作用被害救済機構申請」について、それぞれの選択肢の中から該当するものを選択する。

+ 行追加（最大20）

備考・追加など（文字数上限：3000字） ※報告者のコメント、薬剤師関与による具体的効果などを記載

	<ul style="list-style-type: none">回復軽快未回復死亡不明後遺症あり	<ul style="list-style-type: none">明らかに関連あり多分関連あり多分関連なし関連なし評価材料不足	<ul style="list-style-type: none">済予定無	<ul style="list-style-type: none">済予定無
--	---	--	--	--

薬剤師による患者面談 **必須**

有 無 不明

プレアボイド報告「様式1」入力について⑧

報告施設情報

報告施設名 **必須**

社会福祉法人恩賜財団宮崎県済生会日向病院

施設コード

16479

施設住所(都道府県) **必須**

宮崎県

施設住所

〒889-0692 宮崎県東臼杵郡門川町南町4丁目128番地

電話番号(半角、ハイフンあり) **必須**

0982-63-1321

e-mail **必須**

s.mitsugi@hyuga.saiseikai.or.jp

報告者氏名 **必須**

三樹修一

一覧画面

削除

一時保存

確認待ち

PDFプレビュー

入力内容確認

入力内容確認のボタンを押すとシステム上で記載漏れ等がチェックされ問題が無ければ送信が可能となります。

オンライン報告データの検索について

新規作成

様式1：副作用の重篤化回避

様式2：副作用の未然回避

様式3：薬物治療効果の向上

過去報告を検索

ステータス

報告完了 一次保存 確認待ち

様式

様式1 様式2 様式3

初回登録日

yyyy/mm/d ~ yyyy/mm/d

報告完了日

2024/10/01 ~ 2025/07/31

検索対象

薬剤名

キーワード1

デュロキシチン

キーワード2

AND OR

検索

解除

事列表題

報告者

事例ID

薬剤名

副作用名

経過・介入の概要

一括CSV (選択中)

一括CSV (すべて)

選択	ステータス	様式	事列表題	報告者	初回登録日	報告完了日	操作
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキシチンOD錠20mg)	三樹修一	2025/07/18	2025/07/18	操作 <input type="button" value="v"/>

< 前へ 次へ >

オンライン報告データの出力について

新規作成

様式1：副作用の重篤化回避

様式2：副作用の未然回避

様式3：薬物治療効果の向上

プレアロイド報告 様式2：副作用の未然回避

事例表題
薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避（デュロキシセチンOD錠20mg）

患者情報
年齢 93歳 性別 女 婚姻 無
身長 145cm 体重 42.8kg 入院外来 (発症時の状態) 入院患者
原疾患 既往歴 肝障害 既往歴 腎障害 既往歴 腎障害
右大腿骨転子部骨折 無 無 無

介入時の業務内容
病棟業務

【その他の詳細】

契機
薬歴

①表示

自動保存 reports_user94_20250720-070444 • この PC に保存済み

ファイル タブ ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 開発 ヘルプ Acrobat

フォント(F): 游ゴシック フォントサイズ(F): 11 文字拡大 文字縮小 フォントの色

元に戻す 元に戻す

手書き

編集 基本

A1 : × ✓ fx 事例ID

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	事例ID	様式	事例表題	年齢(歳)日・月齢	性別	妊娠	入院外来	既往歴	肝障害	既往歴	腎障害	身長	体重	原疾患	介	
2	25-Y2-589	2	薬歴チェッ	93	女	無	入院患者	無	無	無		145	42.8	右大腿骨転		

③CSV

プレアロイド報告 (様式2：副作用の未然回避)

ステータス 報告完了 報告完了日 2025/07/18

事例表題 薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキシセチンOD錠20mg) 事例ID 25-Y2-5890

年齢 93歳 日・月齢 性別 女 婚姻 無
身長 145cm 体重 42.8kg 入院外来 入院患者
既往歴 肝障害 既往歴 腎障害 既往歴 腎障害 原疾患 右大腿骨転子部骨折

介入時の業務内容 病棟業務 その他の詳細
契機 薬歴 カル字等情報 その他の詳細
原因 該当しない その他の詳細
権限情報 添付文書 その他の詳細

介入分類	介入前		介入後	
	薬剤名	用法用量等	薬剤名	用法用量等
薬剤中止	デュロキシセチンOD錠20mg (ニプロ)	1日1回 朝食後		

介入の概要
2025年7月10日に薬をセットしている際、患者の薬歴をまとめるファイルに「デュロキシセチン中止」と書いた付箋が貼ってあるのを見つけた。患者のカルテを確認すると、薬剤管理指導記録上に本剤による悪心・嘔吐のために2025年6月9日に中止した記録があった。一連の経過を主治医へ報告したところ、本剤は中止となった。

備考・追加など
薬剤師による薬歴チェックにより、同一薬剤投与による副作用(悪心・嘔吐)の再発を回避することができた。

報告施設名 社会福祉法人恩賜財団宮崎県済生会日向病院 医療機関コード 16479
施設住所 宮崎県平野町880-0692 宮崎県東臼杵郡門川町南町4丁目12-8番地
電話番号 0982-63-4321 e-mail s.mitsugi@hyuga.saiseikai.or.jp

②PDF

受領証

プレアロイド報告 (様式2：副作用の未然回避)

報告施設名 社会福祉法人恩賜財団宮崎県済生会日向病院
報告者氏名 三樹修一
電話番号 0982-63-4321 e-mail s.mitsugi@hyuga.saiseikai.or.jp

事例表題 薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキシセチンOD錠20mg)

報告完了日 2025/07/18

上記の内容にて、プレアロイド報告を受領いたしました。

ご報告ありがとうございました。

一般社団法人 日本病院薬剤師会
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷
日本薬学会 長井記
TEL : 03-3406-0485 FAX

④受領証

回登録日	報告完了日	操作
25/07/18	2025/07/18	操作

1 / 1ページ

表示
PDF
CSV
受領証

報告の内容を
①表示
②PDF出力
③CSV出力
④受領証出力

データの活用が可能

宮崎県病院薬剤師会の報告状況について

令和7年4月1日

宮崎県病院薬剤師会会員施設
薬剤部長（薬局長）

宮崎県病院薬剤師会	会長	池田 龍二
災害対策・リスクマネジメント委員会	委員長	山口 博行
DI委員会	委員長	三樹 修一

プレアボイド報告件数の年間報告について

拝啓

春陽の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、毎年開催されます県病薬総会におきまして、災害対策・リスクマネジメント委員会とDI委員会が共同してプレアボイド報告件数の年間報告を行っております。

つきましては、4月7日（月）までに県病薬事務局宛にFAX、メールまたは郵送にてプレアボイド報告件数の年間報告をお願いいたします。

ご多忙の中大変恐縮ですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

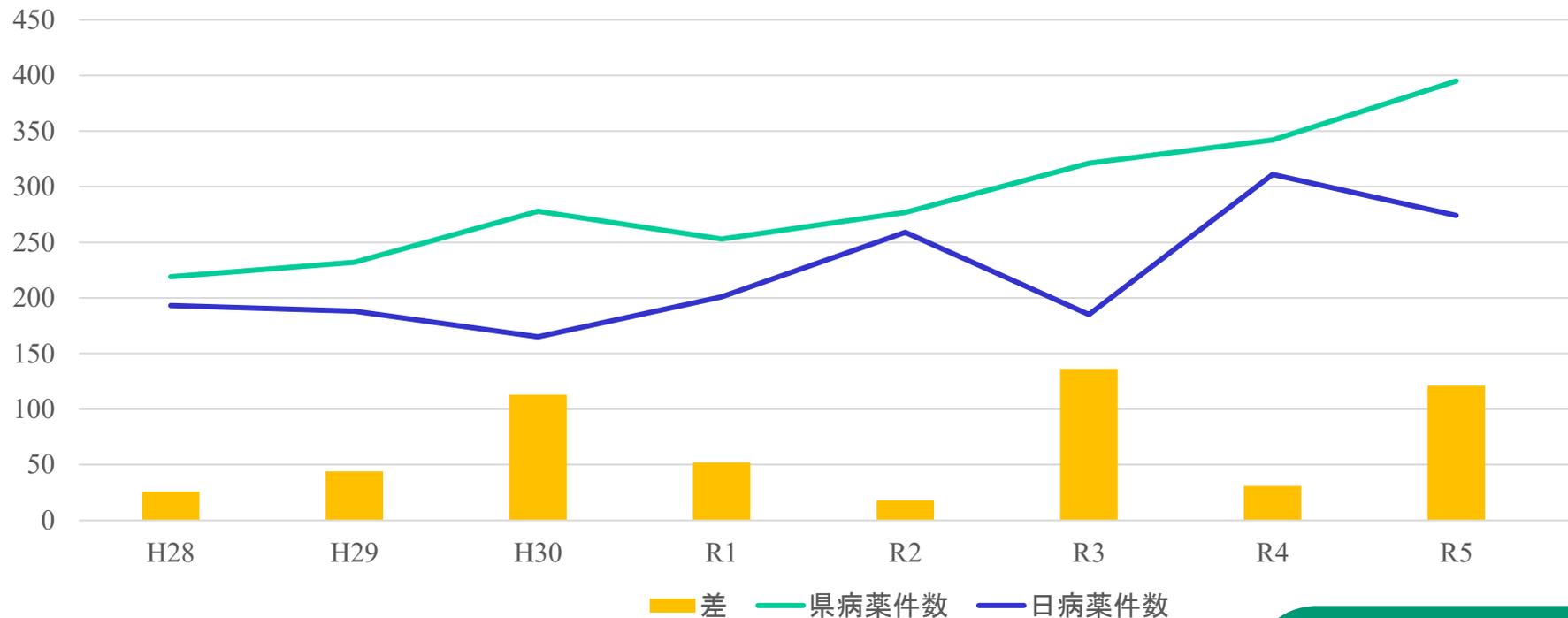
敬具

報告先：〒889-1692
宮崎大学医学部附属病院薬剤部内
宮崎県病院薬剤師会事務局
TEL：0985-85-1510（内線3240）
FAX：0985-84-3361
E-mail：miyashp@med.miyazaki-u.ac.jp

宮崎県病院薬剤師会におけるプレアボイド報告は、災害対策・リスクマネジメント委員会とDI委員会が担当しています。

毎年4月に県病薬事務局より会員施設に対し文書にて、**前年度1年間分**のプレアボイド報告件数の報告をお願いしております。

宮崎県のプレアボイド報告件数の推移



年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
県病薬件数	219	232	278	253	277	321	342	395
日病薬件数	193	188	165	201	259	185	311	274
差	26	44	113	52	18	136	31	121

日本病院薬剤師会の件数と宮崎県病院薬剤師会の件数に大きな差があるのは何故？データ集計のタイミングの違いによるものか？

宮崎県における報告状況

年度	報告件数	報告病院
平成15年度	1件	
平成16年度	2件	
平成17年度	51件	
平成18年度	80件	
平成19年度	36件	宮崎大学・古賀総合
平成20年度	6件	宮崎大学・藤元早鈴
平成21年度	127件	宮崎大学・藤元早鈴・他
平成22年度	156件	宮崎大学・藤元早鈴・他
平成23年度	249件	宮崎大学・藤元早鈴・他
平成24年度	302件	宮崎大学・藤元早鈴・他
平成25年度	216件	宮崎大学・藤元早鈴・他
平成26年度	258件	宮崎大学(156)、古賀総合(39)、けいめい記念(18)、メディカルシティ東部(12)、済生会日向(10)、延岡市医師会(7)、藤元中央(5)、千代田(3)、国立病院機構都城医療センター(3)、藤元(2)、迫田(2)、藤元上町(1)
平成27年度	309件	宮崎大学(101)、国立病院機構都城医療センター(61)、協和(60)、国立病院機構宮崎(28)、串間市民(20)、古賀総合(15)、けいめい記念(10)、藤元総合(5)、延岡市医師会(5)、済生会日向(3)、千代田(1)
平成28年度	219件	宮崎大学(100)、国立病院機構宮崎(37)、県南(25)、古賀総合(11)、県立宮崎(11)、けいめい記念(11)、串間市民(10)、迫田(7)、おび中央(3)、済生会日向(2)、宮崎江南(1)、藤元総合(1)
平成29年度	232件	宮崎大学(100)、国立病院機構都城医療センター(76)、古賀総合(13)、野崎(12)、串間市民(10)、藤元中央(7)、済生会日向(7)、国立病院機構宮崎(4)、藤元総合(3)
平成30年度	278件	国立病院機構都城医療センター(117)、宮崎大学(100)、串間市民(20)、古賀総合(17)、済生会日向(15)、宮崎江南(6)、国立病院機構宮崎(3)
令和元年度	253件	国立病院機構都城医療センター(119)、宮崎大学(100)、国立病院機構宮崎東(19)、潤和会記念(6)、藤元総合(4)、済生会日向(2)、県立宮崎(1)、国立病院機構宮崎(1)、千代田(1)
令和2年度	277件	国立病院機構都城医療センター(110)、宮崎大学(100)、国立病院機構宮崎東(22)、和田(19)、潤和会記念(12)、済生会日向(4)、千代田(4)、藤元総合(4)、宮崎江南(2)
令和3年度	321件	国立病院機構都城医療センター(120)、宮崎大学(101)、串間市民(63)、潤和会記念(12)、和田(12)、国立病院機構宮崎(5)、藤元総合(5)、済生会日向(2)、国立病院機構宮崎東(1)
令和4年度	342件	国立病院機構都城医療センター(120)、宮崎大学(100)、串間市民(30)、国立病院機構宮崎東(27)、和田(14)、県南(13)、済生会日向(10)、潤和会記念(9)、宮崎江南(6)、平田東九州(5)、藤元総合(3)、国立病院機構宮崎(2)、千代田(1)、宮崎善仁会(1)、小林保養院(1)

令和5年度	395件	国立病院機構都城医療センター(120)、串間市民(120)、宮崎大学(100)、潤和会記念(19)、国立病院機構宮崎東(15)、和田(12)、宮崎市郡医師会(3)、済生会日向(3)、藤元総合(2)、国立病院機構宮崎(1)
令和6年度	417件	宮崎大学(173)、国立病院機構都城医療センター(120)、串間市民(30)、潤和会記念(28)、国立病院機構宮崎東(17)、藤元総合(16)、和田(11)、宮崎市郡医師会(10)、済生会日向(10)、国立病院機構宮崎(2)

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
報告施設数	12	7	9	9	9	9	15	10	10

・プレアボイド報告実績のあるのは一部の限られた施設
 ・当県の実績は宮崎大学医学部附属病院、国立病院機構都城医療センターの頑張りに頼っている状態。

より多くの施設に関心を持って参加していただくことが報告件数の増加に繋がります。

プレアボイド報告数の年度推移（全国）

(年度)	様式なし	様式1	様式2	様式3	計
平成11	2,031				2,031
12	4,363				4,363
13	5,983				5,983
14	4,556				4,556
15	3,918				3,918
16		1,581	5,962		7,543
17		997	9,757		10,754
18		814	11,002		11,816
19		827	12,427		13,254
20		717	17,195		17,912
21		674	13,195		13,869
22		763	17,445		18,208
23		767	21,667		22,434
24		800	23,531		24,331
25		933	29,847		30,780
26		1,005	32,343		33,348
27		1,316	38,454		39,770
28		1,723	42,228	6,181	50,132
29		1,826	31,574	7,768	41,168
30		2,051	35,844	8,013	45,908
令和元		2,107	33,616	7,708	43,431
2		2,652	35,111	8,732	46,495
3		2,606	32,323	8,345	43,274
4		2,760	32,271	9,144	44,175
5		2,656	29,816	7,587	40,059
計	20,851	29,575	505,608	63,478	619,512

平成24年
病棟薬剤師業務
実施加算新設

平成28年度までは順調
に伸びているが頭打ちと
なり、以後は減少傾向に
ある。

■ 様式なし
■ 様式1
■ 様式2
■ 様式3



都道府県別報告件数

平成28年度

都道府県	報告数	都道府県	報告数
北海道	690	滋賀	366
青森	245	京都	438
岩手	513	兵庫	604
宮城	178	奈良	36
秋田	558	和歌山	177
山形	197	大阪	2,142
福島	39	鳥取	279
茨城	2,251	島根	2,048
栃木	8	岡山	7,743
群馬	189	広島	4,095
埼玉	4,017	徳島	361
千葉	532	香川	634
神奈川	4,355	愛媛	560
東京	4,116	高知	228
山梨	46	山口	84
新潟	87	福岡	1,703
長野	141	佐賀	439
富山	33	長崎	795
石川	225	大分	487
福井	146	熊本	297
静岡	950	宮崎	193
岐阜	4,973	鹿児島	182
愛知	1,386	沖縄	174
三重	192	不明	0
		合計	50,132

令和5年度

都道府県	報告数	都道府県	報告数
北海道	1,092	滋賀	551
青森	439	京都府	389
岩手	499	兵庫	1,496
宮城	990	奈良	677
秋田	320	和歌山	15
山形	223	大阪府	2,432
福島	156	鳥取	449
茨城	231	島根	1,480
栃木	1	岡山	5,034
群馬	155	広島	889
埼玉	2,211	徳島	253
千葉	1,134	香川	788
神奈川	2,467	愛媛	12
東京都	3,317	高知	40
山梨	310	山口	326
新潟	49	福岡	1,873
長野	231	佐賀	128
富山	53	長崎	680
石川	266	大分	283
福井	117	熊本	730
静岡県	344	宮崎	274
岐阜	310	鹿児島	123
愛知	2,220	沖縄	63
三重	229	不明	0
		合計	40,059

施設数だけではなく地域における取り組みの温度差が報告数に影響している。

平成28年度（報告数ピーク）
 広島県、岡山県、島根県の隣接する県の検討が目立つ。
 令和5年度
 広島県はトーンダウンか？

宮崎の報告件数は伸びてきているが「微増」、伸びしろはまだまだありそう。

年度	H28	H29	H30	R1	R2
件数	193	188	165	201	259

年度	R3	R4	R5	R6
件数	185	311	274	

都道府県別優良事例報告数（重篤化回避報告）

令和5年度

都道府県	報告数	報告施設数	報告者数	都道府県	報告数	報告施設数	報告者数
東京都	179	29	85	石川県	12	5	9
埼玉県	132	14	57	群馬県	11	5	7
神奈川県	63	27	51	滋賀県	10	6	10
大阪府	43	16	37	山梨県	10	2	6
広島県	39	9	27	山形県	9	4	7
福岡県	38	10	28	栃木県	8	2	6
愛知県	36	18	31	岩手県	7	6	6
秋田県	34	9	21	宮崎県	7	5	5
岐阜県	30	2	23	長野県	7	2	4
兵庫県	29	10	15	茨城県	5	4	5
千葉県	27	9	18	福井県	5	3	5
岡山県	24	11	17	山口県	5	3	4
北海道	19	13	16	富山県	4	1	1
鳥取県	19	3	14	徳島県	3	1	2
静岡県	18	6	14	福島県	2	2	2
長崎県	18	5	11	愛媛県	2	2	2
島根県	18	5	6	沖縄県	2	1	2
宮城県	17	3	9	新潟県	1	1	1
香川県	17	2	10	奈良県	1	1	1
三重県	15	4	10	高知県	1	1	1
大分県	14	4	9	和歌山県	0	0	0
青森県	13	7	11	佐賀県	0	0	0
京都府	12	8	11	鹿児島県	0	0	0
熊本県	12	6	10	合計	978	287	627

(優良事例報告数が多い順)

数だけでなく、質も
大切！

全報告件数40,059件のうち
978件、約2%が該当

宮崎の報告件数は7件で全国下位クラス
まずは報告数2桁を目指したい！

プレアボイド優良事例

優良事例は日本病院薬剤師会HP上で掲載

- ・重篤化回避報告（様式1）が対象
- ・プレアボイド報告評価小委員会が評価

当院報告の掲載例

社団法人
日本病院薬剤師会

プレアボイド優良事例

「被疑薬」「回避した有害事象」「薬剤師のケア」に含まれる単語を検索できます。

[[ワード検索](#)]

2009	ラニラピッド錠0.1mg	ジギタリス中毒	ジギタリス中毒の重篤化の回避及び血中ジゴキシン濃度のコントロール。	
------	--------------	---------	-----------------------------------	---

現時点で2009～2023年度分が掲載されています。

【プレアボイド報告書(重篤化等回避報告用) 新様式1】

89040

年齢 80 歳代 ヶ月(1歳未満は月齢)	身長 143 cm 体重 36 Kg	妊娠 ○有 ●無	飲酒(種類/1日量) 喫煙(1日本数) (本/日)	患者 ○外来患者 ●入院患者
副作用等の 発見者 (確認者)	<input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 看護師	発見の 端緒	<input type="checkbox"/> 初期症状指導による患者の訴え <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の患者の訴え <input type="checkbox"/> 薬歴 <input type="checkbox"/> TDM <input checked="" type="checkbox"/> 検査値	
関与した 薬剤師	<input checked="" type="checkbox"/> 薬剤管理指導業務 <input type="checkbox"/> 外来調剤 <input type="checkbox"/> 注射せん調剤 <input type="checkbox"/> 医薬品情報 <input type="checkbox"/> 無菌製剤 <input type="checkbox"/> 入院調剤 <input type="checkbox"/> 製剤 <input type="checkbox"/> TDM <input type="checkbox"/> その他			
薬学的管理 の種類	副作用 ジギタリス中毒 患者との 関連 <input type="checkbox"/> 投与禁忌 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 慎重投与	相互作用 <input type="checkbox"/> 禁忌 <input type="checkbox"/> 慎重 <input type="checkbox"/> 食物 <input type="checkbox"/> その他 その他 <input type="checkbox"/> 用法用量 <input type="checkbox"/> 重複投与 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 誤転記・誤入力 <input type="checkbox"/> 同種薬投与		

発現年月日 2009/09/10

発見年月日 2009/09/08

8/24 全身の浮腫が継続していたため、ラニラピッド錠0.1mg とラシックス錠20mg が服用開始となる。カリウム値 5.0 mEq/l、CRE値 2.34 mg/dl、Ccr値 9.99 ml/min にて腎機能障害あり。
8/26 全身倦怠感、下痢症状がみられる。
8/28 浮腫が改善しないため、ラシックス注40mg の投与が開始となる。
8/29 アルブミン値 2.4g/dl のため、25% アルブミンの投与が開始となる。
9/1 カリウム値 4.3 mEq/l に低下。
9/7 食欲低下、強い吐気が見られるようになる。
9/8 カリウム値 2.6 mEq/l に低下しており、CRE値 1.39 mg/dl、Ccr値 16.8 ml/min にて腎機能障害あったため、ジギタリス中毒を疑う。
9/10 アスバラK注10mEq の投与が開始となる。
9/17 カリウム値 2.1 mEq/l に低下。ラシックス注20mg に減量し、アスバラカリウム錠、ソルダクソン注200mg が追加となる。
9/18 倦怠感、吐気が改善せず、低カリウム血症及び CRE値 1.22 mg/dl、Ccr値 19.1 ml/min にて腎機能障害があったため、医師にジギタリス中毒の疑いがあることを相談し、ラニラピッド錠の服用は中止となる。
9/19 血中ジゴキシン濃度が 2.7 ng/ml であったため、引き続きラニラピッド錠は中止となる。
9/21 アスバラK注10mEq から KCl注20mEq に変更となる。
9/23 カリウム値 3.7 mEq/l に回復。
9/24 浮腫の軽減及び食欲の改善がみられる。
9/25 カリウム値 4.3 mEq/l に回復。血中ジゴキシン濃度 1.5 ng/ml にて正常値まで下がる。食欲も増し、吐気も改善したため、ラニラピッド錠0.1mg 1錠が再開となる。

クリックすると詳細が確認できます。

プレアボイド報告件数アップに向けて



みんなで頑張ろう！

神奈川県病院薬剤師会・神奈川県薬剤師会 2024年度プレアボイド合同研修会

令和7年3月6日にリスクマネジメント
研修会 がオンライン形式で開催さ
れた。令和3年より神奈川県病院薬
剤師会と薬剤師会の合同で企画さ
れ、両会から選出されたプレアボイ
ド優良事例6例(3例ずつ)が表彰さ
れ事例報告が行われた。

プレアボイド優良事例を表彰、発表の
場を設けることで

- ・薬学的知識・モチベーションの向上
- ・医薬品の有効性・安全性の向上

令和7年2月吉日

各位

公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 会長 山田 裕之
業務検討委員会 担当副会長 田村 英樹
業務検討委員会 委員長 菅野 浩

2024年度「プレアボイド合同研修会」 —より質の高い事例報告・収集を行うために—

継続的な薬学管理と患者支援を実践するために薬業連携が益々重要になっております。そこで、病院および保険薬局のプレアボイド事例を通し、お互いの理解促進とより強力な連携推進を目的に神奈川県病院薬剤師会と神奈川県薬剤師会合同によるプレアボイド研修会を企画いたしました。多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

記

開催日時:2025年3月6日(木)19:00~21:00

配 信:オンライン(ZOOM 配信) * 安定した通信環境が準備できる場所でご視聴ください
定 員:100名(下記サイトより登録してください。定員となり次第、締め切らせていただきます)

登録いただいた方に視聴用IDとパスワードをメールにてお送りいたします(2月下旬ごろを予定)
<https://qr.paps.jp/y11a1>

登録期間:2025年1月13日(月)~2025年2月19日(水)

対 象:病院・診療所および保険薬局等の薬剤師など

参加費:神奈川県病院薬剤師会会員・神奈川県薬剤師会会員又はくすり与健康相談薬局勤務者:無料

非会員:①日本病院薬剤師会会員 500円

②上記団体に属さない非会員 1,000円

*参加費の徴収方法は後日お知らせいたします

当研修会は、日薬薬院薬学認定薬剤師制度認定単位(IV-1)1単位を受ける予定です。

ただし、研修開始 30分を経過した後は単位を付与できません。

プログラム

総合同会:神奈川県薬剤師会 リスクマネジメント委員会 古平 圭吾

開会の挨拶 神奈川県病院薬剤師会 会長 山田 裕之

I. 受賞者講演 (19:05~20:45)

講演1

座長:神奈川県病院薬剤師会 業務検討委員会 白鳥 千穂

2023年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演 (19:05~19:50)

①オランザピン継続服用中に発症した麻痺性イレウスの重篤化の回避

医療法人横浜博萌会 西横浜国際総合病院 嶋崎 道則 氏

②ナリボソーム型イリノテカン投与時の抗コリン薬による眼圧上昇を防いだ事例

横浜市立大学附属病院薬剤部 小森 智也 氏

③透析患者におけるリネゾリド投与へ PK/PDに基づき薬剤師が介入した一例~患者貢献ができる pharmacist-scientist を目指して~

横浜市立大学附属病院薬剤部 坂本 靖宜 氏

講演2

座長:神奈川県薬剤師会 リスクマネジメント委員会 芦塚 拓也

2023年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例報告者講演 (20:00~20:45)

①エナラプリルからロサルタンに変更した症例

二子薬局都筑店 渡辺 美穂 氏

②白内障の手術不可を事前に把握し必要ない入院を未然に防いだ症例

すずらん薬局 佐藤 暢宏 氏

③漫然と投薬されていた患者が(eGFR25.7と)重度腎機能障害であることに気づき服用薬の再評価を行った症例

薬局下管我くすりばこ 國井 久加 氏

II. 2024年度プレアボイド報告優秀賞受賞者並びに県病薬最多報告施設発表(20:45~20:55)

閉会の挨拶 神奈川県薬剤師会 会長 小川 護



薬局プリアボイド報告 ～神奈川県薬剤師会の取り組み～

- ホーム
- 薬剤師会紹介
- 活動案内
- 生涯学習認定制度
- 在宅医療
- 入会案内
- 研究倫理審査
- 求人情報
- 貸室等案内
- 研修会案内
- 関連サイト

薬局プリアボイド報告関係

薬局プリアボイド報告

報告専用WebサイトURL :
<https://kanagawayaku.secure.force.com/login/>

薬局プリアボイドWeb報告システムマニュアル(20210419) (PDF 802KB)

[「実例から学ぶ薬局臨床薬学アセスメント」](#)

[「薬局プリアボイド事例集-2020-」\(令和3年3月発行\)](#) (PDF 6,118KB)



報告サイトへ



神奈川県薬剤師会ホームページ上で閲覧できます。

2. 入力方法

- 基本情報は自動的に入力されますが、変更がある際は修正してください。
- 必須項目は必ず入力してください。
※必須項目が未記入の場合は報告エラーとなります
- 自由記載欄は、文字数制限がありますのでご注意ください。

(1) 報告内容を入力する(基本情報、患者情報、プリアボイド情報)

基本情報			
報告者氏名	テスト会員 六番	誕生日(必須)	2021/03/29 [2021/03/29]
報告薬局名(必須)	サンプル薬局	報告薬局所属地域(必須)	--なし--
連絡先(TEL)(必須)	045-999-9999	メールアドレス(必須)	s Ishi@mail.hpa.or.jp
県薬会員有無(必須)	会員	県薬会員番号	56789123
患者情報			
性別(必須)	--なし--	年齢(必須)	歳 ※1歳未満はの歳と記載
身長	cm	体重	kg
体表面積	m2		
プリアボイドの原因となった情報			
併用薬 ※プリアボイド事例に関連する併用薬があれば記載する		原疾患 ※プリアボイド事例に関連する主たる診断名があれば記載する	
既往歴 ※プリアボイド事例に関連する既往歴があれば記載する		副作用歴 ※プリアボイド事例に関連する副作用歴があれば記載する	
アレルギー歴 ※プリアボイド事例に関連するアレルギー歴があれば記載する			
腎機能障害の有無 ※薬歴、初回診察、患者からの聞き取り、臨床検査値等から把握した場合	--なし--	肝機能障害の有無 ※薬歴、初回診察、患者からの聞き取り、臨床検査値等から把握した場合	--なし--

薬局プレアボイド事例集

患者情報、薬歴、臨床検査値、 その他の視点から分類

- ・副作用の重篤化回避事例
- ・適切な薬物療法への介入事例

薬局プレアボイド事例集 適切な薬物療法への介入事例 患者情報

体表面積を計算し適切な投与量を提案した事例

年齢	80歳代	性別	男性	体重	—	アレルギー・副作用歴	無
原疾患	糖尿病						

初めて、エスワンタイホウ配合OD錠の処方箋を持って来局された。主治医からは、「年齢を考慮して少なめで開始する」と言われたようでした。しかし、話を聞くと病院では身長と体重の測定は行ってないとのことであった。

薬局プレアボイド事例集 副作用の重篤化回避の事例 薬歴

生活習慣の情報を薬歴管理

年齢	70歳代	性別	女性	体重	—	アレルギー・副作用歴	無
原疾患	多発性骨髄腫						

多発性骨髄腫があり院内でランマーク皮下注の投与を受けていた。採血の結果、低カルシウム血症を呈したことからデノタスチュアブル配合錠2錠/日分1朝食後で服用開始となった。開始1か月程度経過後、投薬時に指先や唇がチクチクする症状が発現したことを聞き取るが、患者本人は注射剤を使用しているのでその影響だろうと思い込んでいる様子だった。

薬局プレアボイド事例集 適切な薬物療法への介入事例 臨床検査値

腎機能低下患者におけるグラクティブの減量

年齢	80歳以上	性別	男性	体重	65kg	アレルギー・副作用歴	特になし
原疾患	心不全・2型糖尿病・浮腫・便秘症・不眠症・認知症						

10年来糖尿病と心不全で近医を通院されている80代男性患者。臨床検査値を確認したところ、HbA1c:11.6%、尿酸値:8.9mg/dl、血清クレアチニン1.28mg/dlであり、eGFRが40.6mg/mlの中等度腎機能低下である事が判明した。80代高齢患者への漫然投与に対して、臨床検査数値より糖尿病の治療および心不全のリスク回避の観点から薬剤師による処方の見直しを行った。

薬局プレアボイド事例集 適切な薬物療法への介入事例 その他

ドーピング禁止物質の投与回避、使用可能な薬を提案

年齢	10歳代	性別	女性	体重	—	アレルギー・副作用歴	無
原疾患	気管支喘息						

以前、小児喘息で受診歴のあるかかりつけ医を久しぶりに受診した。咳症状があり、気管支喘息の疑いあり、検査をしたところ、NO値が喘息の診断基準となるギリギリの数値だったので、念のため発作時のみ使用する吸入薬を処方された。10月に全日本〇〇選手権大会に出場予定あり。上位入賞時にドーピング検査を受ける必要があると説明したが、医師からは「たぶん大丈夫」と言われたが、念のためスポーツファーマシスト検索より当薬局に来局。

薬局プリアボイド事例集

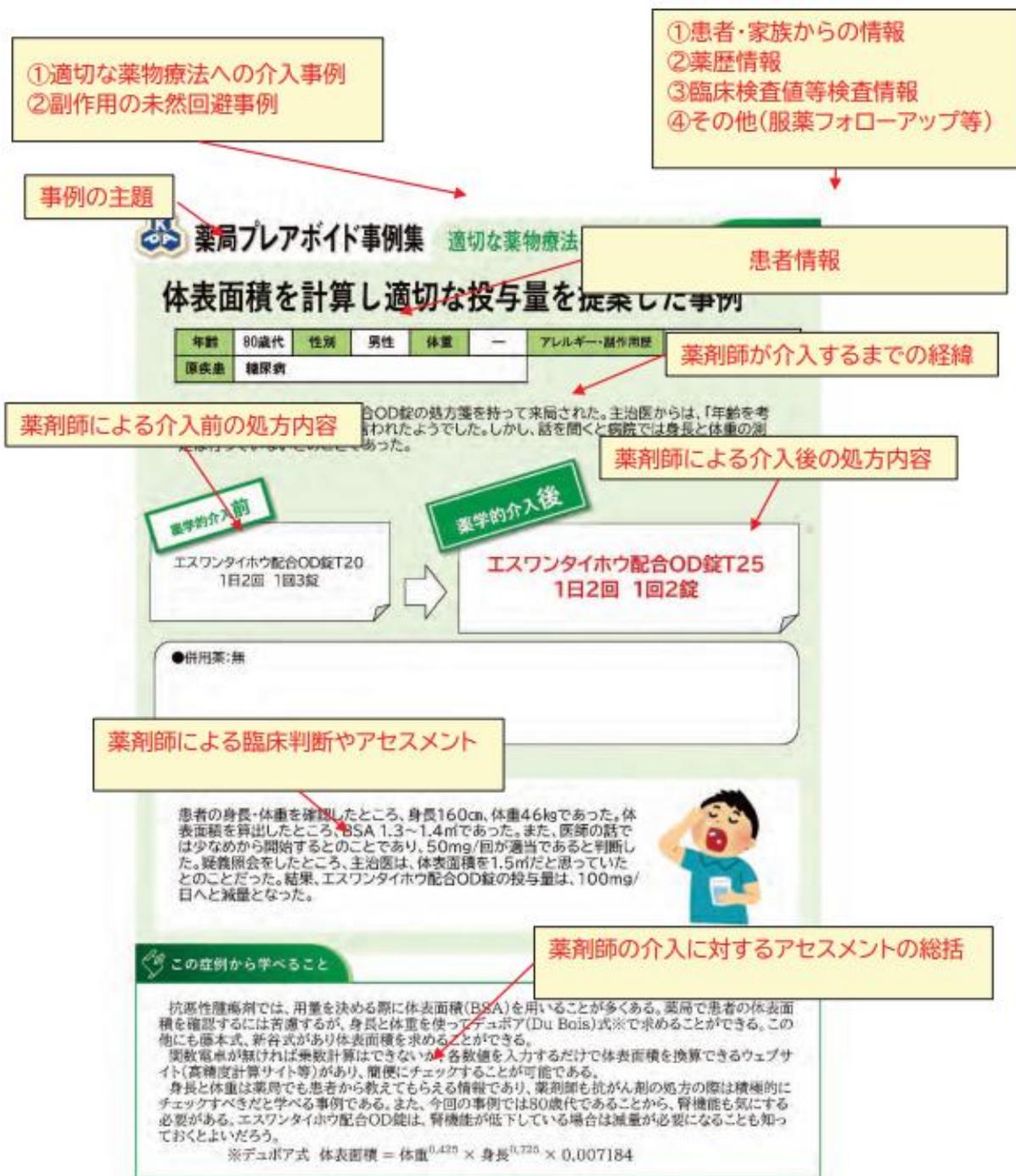
事例から学ぶ

臨床薬学アセスメント

薬局プリアボイド事例集
- 2020 -



公益社団法人 神奈川県薬剤師会
リスクマネジメント委員会



薬局プリアボイド事例集

事例から学ぶ

臨床薬学アセスメント

薬局プリアボイド事例集 第2版
- 2024 -



公益社団法人 神奈川県薬剤師会
リスクマネジメント委員会



事例から学ぶ薬局臨床薬学アセスメント
薬局プリアボイド事例集-2020- (令和3年3月発行)



事例から学ぶ薬局臨床薬学アセスメント
薬局プリアボイド事例集 第2版-2024- (令和7年3月発行)

第1版、第2版ともに
神奈川県薬剤師会
HPから閲覧できます

①適切な薬物療法への介入事例
②副作用の未然回避事例
の2項目で分類

①患者・家族からの情報
②薬歴情報
③臨床検査値等検査情報
④その他(服薬フォローアップ等)
の4項目で分類

事例の主題 **薬局プリアボイド事例集** → 適切な薬物療法への介入事例 **患者情報**

プリアボイド事例は特別 報告事例に記載のないものは「- (R/F)」を記載

年齢	80歳代	性別	女性	体重	-	アレルギー	なし
原疾患	骨粗しょう症、緑内障、白内障、ドライアイ、高血圧、狭心症						

本人と家族がA病院の整形外科と内科の処方箋を持って、当薬局に来院した。
整形外科:ベネット錠2.5mg 1錠 起床時 91日分、モーラステープL40mg 70枚(報告当時)
ルタン錠80mg 2錠 朝、夕食後、ファモチジンOD20mg 1錠 夜
ルメチアジド1mg 1錠 朝食後 35日分
本人に確認したところ、ベネット錠を服用し、その後横になって寝ていることが発覚した。

薬剤師による介入前の処方内容
ベネット錠2.5mg 1錠 起床時 91日分

薬剤師による介入後の処方内容
●併用薬:記載なし
ベネット錠75mg 1錠 起床時 3日分

家族もベネット錠2.5mgの服用方法が特殊であることを理解しておらず、薬の服用も本人に任せきりであった。本人と家族に服用方法を再度説明し、理解を促したが、毎日起床時に服用できなかった。服用困難であり、ビスホスホネート製剤を提案した。外科のB医師に薬剤を提案した。家族にも、ビスホスホネート製剤でも、月に1回服用する製剤や半年に1回、受診時に注射を打つ製剤があることを説明し、B医師と相談してほしいことをお伝えした。B医師からは患者の服用状況を把握するために、当日再度診察が実施され、処方内容がベネット錠2.5mg→75mgに変更になった。月1回の製剤になり、今後は家族が管理しやすいように、薬局で薬のシートに服用する日付を記載し、お渡しした。3ヶ月後に本人と家族が再来した。1回は飲み忘れがあったものの、翌日には服用できていた。

**薬剤師による臨床判断やアセスメント
薬剤師が介入した後の経過について**

この症例から学べること

**薬剤師の介入に対するアセスメントの総括
学んでもらいたいポイントをまとめました**

薬局薬剤師は処方箋を受け付けてから、指導に至るまで限られた時間の中で質の高い薬学的ケアの実施が求められ、必要な情報をいかに入手するか方も求められる。そのうえで、適切な薬物療法を実施すること、副作用を回避することが責務となっている。
かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局とともに調剤した薬剤の交付時だけでなく、患者が薬剤を服用・使用している期間の服薬状況、体調の変化や生活の状況を把握し、電話や、電子メール等も活用しながら継続的に服薬指導を行っていくことが義務付けられた。
プリアボイド事例としても形式的な疑義照会ではなく、疑義の発見には処方箋のみならず、薬歴や患者の情報、家族などから得た情報などを活用して、総合的に判断する必要がある。
本事例のようにリセドロン酸ナトリウム水和物でのイベントは服薬指導中には多く見られるが、服用後のイベントを確認することは当たり前で重要なことである。月一回の薬なので服用後すぐには筋・骨格筋の副作用が起きていないか、服用中に骨折、手術予定がないかなど確認することは患者にとって薬剤師の職能を意識してもらう最良のイベントと考える。

「プレアボイド報告からみた病棟常駐薬剤師の医療安全における役割」を例に考えてみる

- 上尾中央総合病院(753床)は全病棟に薬剤師が2008年から常駐し、プレアボイド報告体制を整備
- プレアボイド報告数の推移は、2008年度までの年間平均**19.5件**であった。
- 2009～2011年度の平均は**469.3件**の報告だった。
- 薬剤師の病棟常駐を開始したことにより**プレアボイド報告は顕著に増加した。**
- 病棟常駐薬剤師の**医薬品安全管理における役割は大きい**ことが明らかとなった。

上尾中央総合病院におけるプレアボイド報告 件数増加のポイント ～論文が示すもの～

- プレアボイド発生時の業務では、**薬剤管理指導業務及び病棟業務からの報告**が最も多かった。
- 薬剤師の病棟常駐を開始したことにより、**服薬状況を詳しく観察し検討**することが可能になった。
- **看護師等から得た情報を契機**にプレアボイドとなる事例が増えた。
- 調剤業務を担う薬剤師が**病棟常駐薬剤師を通す**ことで処方提案を行いやすくなった。

「そりゃそうだ」と思った方は報告事例に遭遇してるはず……。

プレアボイド報告の有効活用

プレアボイドの実践

プレアボイド報告は
スタッフのスキル
アップにも有用です

薬学的知識の向上
適切な対処法の習得

事例の収集
情報共有
情報発信

医薬品の有効性・安全性の向上



プレアボイド報告の学生指導への活用

プレアボイド報告は薬学生指導の教材に最適です。

【薬学教育モデル・コア・カリキュラム F-1 薬物治療の実践より】

- 薬物治療の問題点の抽出を行い、その評価に基づき、問題解決策を検討し、薬物治療を個別最適化するための計画を立案する。
- 薬物治療開始時からその必要性和安全性を評価し、医薬品の不適正使用等によるリスクを回避するとともに、薬物治療開始後の患者の状態を継続的に把握し、適切に評価し、医薬品の有効性と安全性を確保する。

全選択
 一括PDF (選択中)
 一括CSV (選択中)
 一括CSV (すべて)

結果一覧

選択	ステータス	様式	事例表題	報告者	初回登録日	報告完了日	操作
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキセチンOD錠20mg)	三樹修一	2025/07/18	2025/07/18	操作
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	腎臓病患者に対するレボフロキサシンの過量投与の回避	三樹修一	2025/02/08	2025/02/08	操作
<input type="checkbox"/>	報告完了	様式2	降圧剤による低血圧の回避	三樹修一	2024/10/10	2024/10/10	操作

この報告は、本年度の実習生が発見し報告しました。 1 / 1 ページ表示, 全3件

報告書

プレアボイド報告 (様式2: 副作用の未然回避) ステータス 報告完了 報告完了日 2025/07/18

事例表題	薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキセチンOD錠20mg)			事例ID	25-Y2-6890
年齢	93歳	日・月齢		性別	女
身長	145cm	体重	42.8kg	入院外来	入院患者
既往歴・肝障害	無	既往歴・腎障害	無	原疾患	右大腿骨転子部骨折
介入時の業務内容	病棟業務	その他の詳細			
契機	薬歴カルテ等情報	その他の詳細			
原因	該当しない	その他の詳細			
根拠情報	添付文書	その他の詳細			

介入分類	介入前		介入後	
	薬剤名	用法用量等	薬剤名	用法用量等
薬剤中止	デュロキセチンOD錠20mg 「ニプロ」	1日1回1錠 朝食後		

介入の概要 2025年7月10日に薬をセットしている際、患者の薬歴をまとめているファイルに「デュロキセチン中止」と書いた付箋が貼ってあるのを見つけた。患者のカルテを確認すると、薬剤管理指導記録上に本剤による悪心・嘔吐のために2025年の4月9日に中止した記録があった。一連の経過を主治医へ報告したところ、本剤は中止となった。

備考・追加など 薬剤師による薬歴チェックにより、同一薬剤投与による副作用（悪心・嘔吐）の再発を回避することができた。

報告施設名	社会福祉法人恩賜財団宮崎県済生会日向病院	医療機関コード	16479
施設住所	宮崎県千早89-0692 宮崎県東臼杵郡門川町南町4丁目12-8番地		
電話番号	0982-63-4321	e-mail	s.mitsugi@hyuga.saiseikai.or.jp
報告者氏名	三樹修一		

受領証

受領証

プレアボイド報告 (様式2: 副作用の未然回避)

報告施設名	社会福祉法人恩賜財団宮崎県済生会日向病院		
報告者氏名	三樹修一		
電話番号	0982-63-4321	e-mail	s.mitsugi@hyuga.saiseikai.or.jp

事例表題 薬歴チェックによる同一薬剤による副作用再発の回避 (デュロキセチンOD錠20mg)

報告完了日 2025/07/18

上記の内容にて、プレアボイド報告を受領いたしました。

ご報告ありがとうございました。

一般社団法人 日本病院薬剤師会
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目12番15号
日本薬学会 長井記念館 6階
TEL: 03-3406-0485 FAX: 03-3797-5303

学生さんのモチベーションもアップ!



日本医薬品安全性学会 医薬品安全性専門薬剤師認定取得への活用

日本医薬品安全性学会
医薬品と有害事象の関連性やメカニズムを解明し、
回避対策を探求することにより、医薬品の安全性向上
に寄与することを目的として2014年5月に設立



一般社団法人
日本医薬品安全性学会

医薬品のリスクから患者を守る。
それが私達の使命です！

～私たちは、医薬品の有害事象を多角的に
追究し、健康被害の予防や早期発見へつな
がる適正な薬物治療に貢献しています～

医薬品安全性専門薬剤師
(DSSP)認定制度は、医薬
品の安全性に関する十分
な知識及び技能を有する
薬剤師を対象とした認定
制度です。

医薬品安全性専門薬剤師の申請・更新に必要な事項

日本医薬品医薬品安全情報学会HPより

第4章 医薬品安全性専門薬剤師 (DSSP)

第十条 医薬品安全性専門薬剤師の申請は下記の各項を満たす者とする。

1. 本邦における薬剤師免許を有し、薬剤師として優れた人格及び医薬品安全性学の見識を備えている。
2. 申請時において、本学会の正会員である。
3. 申請時において、医療機関における薬剤師業務経験が5年以上である。
4. 申請時において、次項①～③に定める基準に従って申請時過去5年以内に50単位以上を修得している。
 - ① 医薬品安全性関連事例検討歴が原則25単位（医療機関において、医薬品・食品による有害事例や回避事例など医薬品安全性関連事例の対応に自ら参加した症例報告を1例につき2単位、ただし有害事例と回避事例の別は問わない）以上を修得している。
 - ② 学術活動歴が原則25単位（学会参加・医薬品安全性に関する学会発表・医薬品安全性に関する論文発表など学術活動は次項a.～h.に定める基準に従って配点）以上を修得している。
 - a. 本学会参加：10単位（発表；演者+5単位、共者+3、WS+3）
 - b. 本学会誌発表：筆頭；15単位、共者；5単位
 - c. 本学会監修書籍執筆：1項；1単位、編者/監修；+10単位
 - d. 本学会無関係書籍執筆：2項；1単位、編者/監修；+3単位
 - e. 他学会参加：2単位（発表；演者+2単位、共者+1）
 - f. 他学術雑誌発表（査読あり）：筆頭；3単位、共者；1単位
 - g. 研究会・研修会参加：1単位（発表；演者+1単位）
 - h. 本学会認定の研究会参加：5単位（発表；演者+4単位、共者+2）
 - ③ 医薬品安全性関連事例検討歴と学術活動歴は、互いに15単位まで代用することができる。すなわち、医薬品安全性関連事例検討歴10単位+学術活動歴40単位=50単位、あるいは医薬品安全性関連事例検討歴40単位+学術活動歴10単位=50単位でも可能である。
5. 本学会の認定委員会の指定する試験（二次試験）に合格している。
6. 更新時において、4.の①と②に定める基準に従って申請時過去5年以内に①+②の合計が30単位以上を修得している。なお、①および②単独で30単位以上でも更新条件を満たしたものとす。また、二次試験は不要である。

① 医薬品安全性関連事例検討歴で25単位以上を修得

② 学術活動歴で25単位以上を修得

③ ①と②は互いに15単位まで代用可

認定委員会の指定する試験に合格

更新時は①②で30単位以上を修得

有害事例や回避事例など医薬品安全性関連事例の対応とは

別紙1

目次	医薬品安全性情報報告書 ☆医薬品医療機器法に基づいた報告制度です。 記入前に裏面の「報告に際してのご注意」をお読みください。		化粧品等の副作用等は、様式2をご健康食品等の使用によると疑われ、 あるいは、最寄りの保健所へご連絡く
ニシヤル	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	副作用等発現年齢 歳(乳児: ヶ月 週)	身長 cm
			体重 kg
			妊娠 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(妊娠)
・合併症	既往歴	過去の副作用歴	特記事項
	1.	<input type="checkbox"/> 無・ <input type="checkbox"/> 有 医薬品名: 副作用名: <input type="checkbox"/> 不明	飲酒 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無 喫煙 <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無 アレルギー <input type="checkbox"/> 有() <input type="checkbox"/> 無 その他()
	2.		
等の名称又は症状、 見	副作用等の重篤性 「重篤」の場合、<重篤の判定基準> の該当する番号を()に記入	発現期間 (発現日 ~ 最終日)	副作用等 後遺症ありの場合、
	<input type="checkbox"/> 重篤 → () <input type="checkbox"/> 非重篤	年 月 日 ~ 年 月 日	<input type="checkbox"/> 回復 <input type="checkbox"/> 軽快 () <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 後遺症あり ()
	<input type="checkbox"/> 重篤 → () <input type="checkbox"/> 非重篤	年 月 日 ~ 年 月 日	<input type="checkbox"/> 回復 <input type="checkbox"/> 軽快 () <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 後遺症あり ()
の判定基準> ①:死亡 ②:障害 ③:死亡につながるおそれ につながるおそれ ④:治療のために入院又は入院期間の延長 ⑤に準じて重篤である ⑥:後世代における先天的疾患又は異常		<死亡の場合>被疑薬 と死亡の因果関係: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 不明	
副作用との関連が る医薬品の販売名)	製造販売業者の名称 (業者への情報提供の有無)	投与 経路	1日投与量 (1回量×回数) 投与期間 (開始日~終了日)

有害事例の報告 =
PMDA副作用報告

プレアボイド
 < オンライン報告 >

フィジカルアセスメントを前提とするプレアボイド報告のお願い(依頼)
 医薬情報委員会からの
 プレアボイド入力支援フォームについてお願い(令和4年1月27日)
 「報告者のユーザー登録、および「報告内容の書きかけ保存・CSVダウンロード」
 機能の終了について(平成29年5月12日)

<プレアボイド報告に関するお願い>

- 報告は、一定期間(特に月末等)に集中しないようにしてください。
- 1日あたりの報告数は、1施設につき30件を上限とさせていただきます。
- 同時に複数のウィンドウ(タブ)を開いて、入力・編集作業は行わないでください。
- システムトラブルの原因となりますので、1件ずつ入力してください。

モード1入力(副作用の重篤化回避)
モード2入力(副作用の未然回避)
モード3入力(薬物治療効果の向上)

回避事例の報告 =
日病薬プレアボイド報告

第三者による業務評価対応の資料としての活用

九州厚生局による適時調査

調査担当官のコメントより（自験例）

「病棟で薬剤師さんが色々と活動されているのは、書類や記録から何となく分かりました。

薬剤師さんが病棟で活動することのメリットを**具体的に証明できる**ようなものは他にありませんか？」

第三者による業務評価対応の資料としての活用

【具体的な活動資料として提示した書類】

有害事例の報告 = PMDA副作用報告

回避事例の報告 = **日病薬プレアボイド報告**

プレアボイド報告は、病院機能評価、医療監視、厚生局監査（個別調査、適時調査）等、第三者評価において薬剤師業務の成果を証明する材料としても有用です。

公的に報告していることで説得力があります。

プレアボイド報告施設証

プレアボイド報告施設証

施設名 社会福祉法人恩賜財団宮崎県済生会日向病院

薬学的患者ケアによる副作用・相互作用等回避・
薬物治療効果の向上を報告した施設であることを証する

報告期間：2023年4月1日～2024年3月31日

2024年12月1日



一般社団法人 日本病院薬剤師会 会長 武田泰生



- 日本病院薬剤師会よりプレアボイド報告を行った施設の認定証として発行（報告数1件も対象）
- 年度ごとに更新
- 施設によってはホームページや施設認定のコーナーに掲示

当院は2009年度から16年間、認定を継続しています。

簡単で当たり前の事でも継続することが大切！

島田市立総合医療センターホームページより

3. プレアボイド

当院では、薬による有害事象を防止・回避する「プレアボイド」を遂行した事例について、日本病院薬剤師会に逐次報告しています。

【プレアボイド】

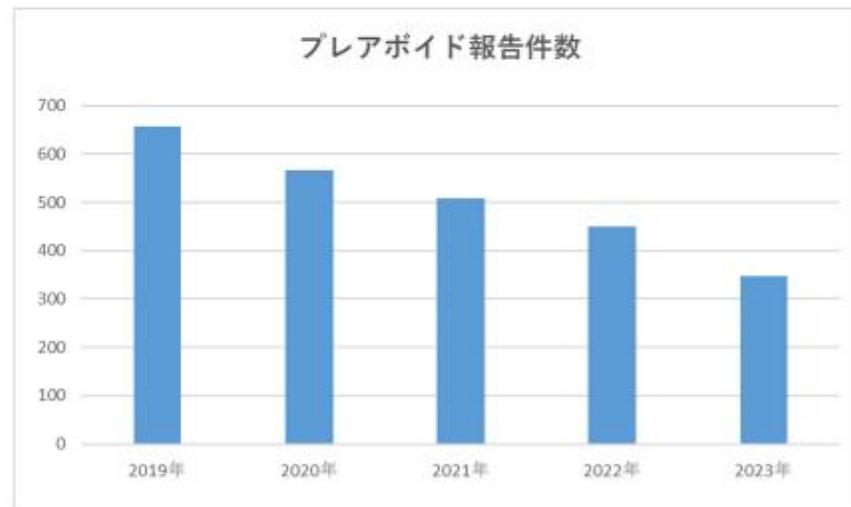
※ Prevent and avoid the adverse drug reactionを基にした造語



マツダ株式会社マツダ病院ホームページより

プレアボイド報告業務

プレアボイド（薬剤師が薬物療法に直接関与し、患者の不利益を回避あるいは軽減した事例）報告を積極的に収集し、薬剤師の教育ツールとして活用しながら、薬剤管理指導業務へ役立てています。また、日本病院薬剤師会が推進しているプレアボイド報告制度へ参加することで、プレアボイド報告施設証が発行されています。



香川県立中央病院ホームページより

安全管理業務

厚生労働省の省令により医薬品安全管理責任者の配置が義務化され、当院もその手順書に沿って院内の医薬品安全管理に努めています。プレアポイド報告・副作用報告・副作用被害救済制度を重点項目として取り組んでいます。

ー プレアポイド報告

「プレアポイド」とは、直訳的に言えば「事前（プレ）に、避ける（アポイド）」の意味で、日本病院薬剤師会では、薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者さんの不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を“プレアポイド”と称して報告を収集しています。プレアポイド報告の目的は、事例を集積・共有化することにより、患者さんへの薬物療法の安全性を高めること、薬の適正使用と医療経済に貢献することです。最近では、薬剤師による処方提案や用量最適化によって治療効果が向上する成果が報告され、薬物治療効果の向上による患者不利益回避報告が追加されました。当院では日々の臨床業務の中でこの報告に積極的に取り組んでおり、院内の医療安全推進委員会に報告し、院内全体の医療安全に活用しています。当院は、プレアポイド報告施設としての認定を毎年受けています。

ー 副作用報告・副作用被害救済制度

医薬品の適正使用を進めるために、情報を提供するだけでなく、積極的な情報の収集も行っています。より多くの情報を収集するために、専用電話を設置しています。副作用は疑い情報も含めてグレードを問わず、広く医療スタッフ全員からの情報を集めています。これをデータベース化し、副作用委員会に報告、発現した副作用に対して分析を行ないその対策を講じています。必要時には、薬剤師が厚生労働省や製薬企業へ積極的に報告し、より安全な薬物治療に貢献しています。また、重篤な副作用で入院を要した場合には、副作用被害救済給付のお手伝いをしています。



プレアボイド報告は薬剤師の
貢献を公的に報告できる貴重
な取り組みです。

会員の皆様へ

新システム導入で入力が簡便になりました。

まずは1報、自ら報告してみましよう！

ご協力をよろしくお願い致します。

